

デンマークで学んだ 「心と時間」

講師 菱井 祐希 氏

(桃山学院大学 社会学部 社会福祉学科 2017年3月卒業)

日時 2017年12月8日(金)

13時20分～14時50分

会場 聖トマス館 T-003教室

*入場無料で、事前申込みは必要ありません。皆さまのお越しをお待ちしております。

障がいがあり日常生活すべてに支援が必要なため、親から離れてひとりで旅行をするようなことはこれまでありませんでした。しかし、2017年3月の卒業式を前に1月から6月までひとりでデンマークのフォルケホイスコーレ（成人のためのフリースクール）に留学し、多くの体験をされました。今回の講演ではこの貴重な体験を基にお話いただきます。



菱井 祐希 (ヒシイ ユウキ)

1994年、大阪府生まれ。桃山学院大学 社会学部 社会福祉学科 2017年3月卒業。生まれつきの障がいにより幼い頃から車椅子生活を送るが、周りの環境に恵まれて幼稚園から高校まで地域の公立学校に通う。しかし、小学校高学年頃から行動範囲の違いが生じ始めて周りから孤立し、生きづらさを感じていた。外国人の方が日本人に比べて障がい者に対して、分け隔てなく接してくれるのではないかとイメージがあり、次第に日本より外国の方が生きやすいのではと思うようになる。そんな中、大学の先生から障がい者でも留学できるエグモントホイスコーレを紹介してもらい、2017年の1月から6月まで留学。現在は、日々の生活で感じたことなどをブログを通じて発信している。

人権週間

1948年12月10日の国際連合総会において「世界人権宣言」が採択され、1950年に、この宣言が採択された「12月10日」を記念して「世界人権デー」とし、12月10日を含む前1週間を「人権週間」と定めて、加盟国に記念する事業を実施するように呼びかけられました。日本では、1949年から12月4日～10日までの1週間を「人権週間」と定め、毎年人権尊重のための啓発活動を推進しています。桃山学院大学においても、この人権週間にあわせて「人権週間講演会」を企画・開催しています。

世界が変わる体験がある。



桃山学院大学
St. Andrew's University